

夏休み宿題応援企画！学校では教えない「消費税」のこと 社会のお金のしくみを親子で考えてみよう！

「消費税のこと知っている？」しくみを学べば社会のこともわかる！

夏休みの宿題に活用できるおまけのレクチャー付き！

- ・開催日：2014年8月21日（木曜日） 14:00～16:00
- ・会場：パルシステム東京新宿本部2F多目的ルーム
- ・講師：生活サポート生活協同組合・東京 相談員
- ・対象：小学校高学年（5,6年生）とその保護者
- ・参加者：親子 8組 17名（保育あり2名利用）
- ・共催：生活協同組合パルシステム東京



～残暑厳しい中、8組17名の親子が集まりました。～

前半は子どもでも被害に遭うおそれのあるインターネット詐欺について、スタッフ総出の声の出演による『パワーポイント紙芝居』で事例を発表。それをもとに意見を出し合いました。実際にあった相談事例をモデルにしましたが、「会ったこともない人に、簡単にお金を振り込むなんてありえないと思う」など小学生とは思えない、しっかりした意見が続出。親同士の意見交換では「日頃から子どもとしっかりコミュニケーションをとるように心がけている。事例のようなことがあったらその時は真剣に話し合っただけで対処したい」など熱い想いが交わされていました。

後半は消費税についての勉強です。消費税を理解するためのクイズが出ると、子どもたちは目を輝かせて答えを考えていました。難しい内容でしたが、7問全部正解した子もいて最後の結果発表ではどよめきが起きました。勉強した内容は、消費税が誕生した理由、少子高齢化、税金の使い道、海外の消費税の事情、買い物の時の消費税の表示方法など盛りだくさん。子どもはもちろん、親にとっても知っているようで知らない消費税の事を、親子で一緒に学べるきっかけになったのではないかと思います。

最後に夏休みの自由研究について、「自由研究のやり方ポイント」のレクチャーをしました。具体的に何を注意したらよいかという話には、保護者のほうが真剣に聞き入っていました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・子ども向けに説明してくれてよくわかった（小5）
- ・詐欺や税のことで初めて聞いたことがあったので、少し難しかった（小6）
- ・クイズを取り入れたり、お話の人物の身になって考える時間があったからよかった（小5）

以下、保護者より

- ・絵や図で説明が多くされたのでわかりやすかった（40代）
- ・子どもだけでなく親の意見も発表する場が欲しかった。せっかくのワークがもったいなかった（30代）
- ・自由研究についての内容がよかったので、今後も高学年向けの講座を企画してほしい（40代）
- ・自分自身が知らない事もあったが、子ども目線での内容だったので興味深く聞いた（40代）